

JBCC

Japan Business School Case Competition Executive

2015

JBCC 本選の様子

2015年7月26日(日)、慶應義塾大学日吉キャンパスにて、JBCC2015本選が開催されました。今回より本選の方式が変更され、セミファイナルとグランドファイナルの2部構成となりました。午前中のセミファイナルでは、予選を通過した16チームが4ブロックに分かれてプレゼンテーションを行い、午後のグランドファイナルでは、各ブロックを1位で通過した4チームに、ワイルドカードとして選出された1チームを加えた5チームによるプレゼンテーションが行われました。

RBSからは13期生の阿部太一さんを代表とする1チームが予選を通過しており、セミファイナルでは技巧を凝らしたプレゼンテーションで審査員を唸らせていました。また、会場にはRBSから多くの応援者が集まり、熱いエールが送られました。残念ながら、阿部チームはグランドファイナル進出とはならなかったものの、立教大学大学院の存在感を学外に示すことができました。



グランドファイナルでは、RBS13期生の阿部正樹さんが司会を務め、大いに会場を盛り上げていました。本選を制したのは一橋大学大学院の白濱チームで、同チームはシーバズリーグ18年イノベーション賞との同時受賞となりました。本選の最後には、審査委員長である株式会社経営共創基盤の富山和彦氏より総括があり、年々出題者側のレベルも向上しているので、来年に向けて更に高いレベルの戦いを期待しているとの話で大会が締めくくられました。

本選終了後には大会出場者および観戦者の交流の場として懇親会が開催され、RBS13期生の神野真琴さんが司会を務め、華やかなムードの中、ビジネススクール生同士が学校を超えた交流を深める良い機会となりました。

(14期生 立花 和将)



JBCC2015 実行委員より

今年度は過去最多の160チーム599名のエントリーがあり、見事、阿部太一チームがRBSから2年連続のファイナル出場を果たすことが出来ました。立教のプレゼンスを高めてくれた彼らに感謝の意を表したいと思います。また、その活動を陰で支えてくれたJBCC実行委員の神野さんも特筆するものがあります。HP作成、会場運営リーダー、懇親会の司会など他校の実行委員から厚い信頼のもとJBCC2015を成功へ結びつけました。私も実行委員としてこの素晴らしい機会に感謝しつつ、次年度も続いてくれることを切に願います。

(13期生 阿部 正樹)

RBSからは、過去最高の出場数となる15チームがエントリーされました。本選に進んだチームは1チームのみでしたが、予選時に提出された資料はどのチームも非常に完成度が高かったと思います。強いて言えばやや分析パートに寄っているチームが多かったな、といった印象です。本選に出場された阿部太一さんチーム同様、来年もRBSらしい人を惹きつけるような戦略提言を期待しています。応援しています。

(13期生 神野 真琴)

阿部チームより

私がJBCCに参加するきっかけは、ある講義で偶然隣に座った同期の勧誘だったと思います。当時は本学に入学して間もなく、JBCCの概要やその規模さえも認識していませんでした。その年のJBCC2014には、そのままお祭りに参加する感覚でエントリーしましたが、マーケティングもファイナンスさえも理解していない当時の私。当然、「予選敗退」という結果が待っていました。

本年度のJBCC2015はその悔しさをバネに臨みました。結果、本戦出場は叶ったものの、グランドファイナリストに選ばれることは叶いませんでした。しかし、この学外での学びは、私を含めたメンバーそれぞれにとって貴重な経験だったと思います。それは、苦悩、挑戦、歓喜、挫折を学友であるメンバーと共に分かち合うことで初めて得られる経験です。この実経験を伝えていくことで、今後のRBSの発展に貢献できればと思っています。

(13期生 阿部 太一)

【チームメンバー】

(左から) 和田 大輔 / ガンホヤグ・ガンボルド / 阿部 太一 / 湯浅 喜人

